

事業報告
決算報告書

(第37期)

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月 31日

株式会社 札幌花き地方卸売市場
札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

平成27年度 事業報告書

平成27年度（第37期）の当社の事業活動の概要をご報告いたします。

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

平成27年度のおが国の経済は、大胆な金融政策等の推進により、雇用環境等が改善し、緩やかな回復基調が続いています。ただし、年度前半には中国を始めとする新興国の景気減速の影響等もあり、輸出が弱含み、個人消費および民間設備投資の回復に遅れが見られました。

一方、北海道経済は、公共工事の減少が続く中、個人消費の底堅さ、住宅投資の持ち直し、海外客の増勢持続などから、公共投資の減少が下押し圧力となるものの、年度を通じて緩やかに持ち直し基調が続いております。

このような経済状況の下で、平成27年度の当市場の取扱高は、数量で1億1,270万本（前年度1億1,127万本）、金額においては87億3,939万円（前年度84億9,170万円）となり、数量で前年比1.3%増、金額で2.9%増となる取扱実績となりました。

なお、道内の花きを扱う卸売市場の取扱高は、平成27年（暦年）で137億2,787万円、前年比1.7%増となったため、当市場の道内取扱シェアは63.5%（前年62.1%）となっております。

また、全国の花き市場の動向は、社団法人日本花き卸売市場協会の発表によりますと、全国会員市場（卸売業者129社）の取扱金額は、約3,802億円で、対前年比2.1%増となっております。

市場の運営におきましては、一般市民の皆様には市場のPRやお花に親しんでいただくことを目的として、第4回目となる「花き市場まつり」を当市場に於いて開催いたしました。昨年に引き続き、国が進める「国産花きイノベーション推進事業」の一環として「北海道のお花大集合 in 花き市場」と題したイベントを同時開催し、道産花きの魅力を積極的にPRするとともに、業界と相互連携させながら事業を進めてまいりました。

このほかの花きの振興、需要喚起の取り組みとしては、北海道花き振興委員会による第35回目の北海道花き品評会（切花・鉢花）を開催、また、小学校3・4年生が生花店を模擬体験する「ミニさっぽろ2015」には、卸売業者、仲卸業者、小売団体などと連携して、市場関係者一体となった花育事業として積極的に取り組みました。

平成28年度の事業といたしましては、これらの事業を引き続き継続し、業界一体となった消費宣伝活動の一層の充実が重要と考え、国が進める「国産花きイノベーション推進事業」に対しても積極的に役割を果たしながら、更なる情報発信の強化や、道産花きのPRなど、市場活性化に向けた取り組みを進める予定です。

(2) 資金調達についての状況

① 資金調達

当期中において、新たな借入金、株式の発行、補助金の交付などはありません。

② 設備投資

当期中に行った設備投資は、切花棟卸売場大型暖房機 250 万円、食堂食洗機 49 万円、鉢物棟北側の土地購入代金 4,172 万円であります。

(3) 直前三事業年度の財産および損益の状況

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
売 上 高	128,530 千円	128,751 千円	129,552 千円	130,904 千円
当期純利益	9,095 千円	9,503 千円	3,284 千円	5,111 千円
1 株当り当期純利益	22 円 40 銭	16 円 01 銭	8 円 09 銭	12 円 58 銭
総 資 産	725,227 千円	815,445 千円	718,309 千円	769,235 千円

(4) 使用人の状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

従業員数 社員 4 名 (男子 3 名、女子 1 名)、非常勤社員 1 名、パートタイマー 2 名

2 株式に関する事項

(1) 発行する株式の総数 500,000 株

(2) 発行済み株式の総数 406,000 株

(3) 当期末株主数 5 名

(4) 株 主

株 主 名	持 株 数	株式割合
札幌市	204,000 株	50.25 %
札幌花き園芸(株)	164,600 株	40.54 %
北海道植物(株)	19,000 株	4.68 %
(株)北海道銀行	16,000 株	3.94 %
はまなす花き(株)	2,400 株	0.59 %
計	406,000 株	100.00 %

3 会社役員に関する状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名
代表取締役社長	町田 隆敏
専務取締役	山本 正博
取 締 役	小野 聡
取 締 役	田嶋 久嗣
取 締 役	柳田 修
取 締 役	山田 紀雄
取 締 役	佐藤 亮二
監 査 役	木村 雅樹
監 査 役	木村 伸人

以上、平成 27 年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしました。今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいりますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげまして事業報告といたします。

平成 28 年 6 月 22 日

株式会社札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 町田 隆敏

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 252,012,139 】	【流動負債】	【 145,874,178 】
現金	80,000	未払金	9,734,016
預金	238,196,849	未払法人税等	962,100
立替金	534,535	未払消費税	1,858,600
前払費用	1,899,758	前受金	15,000
未収収益	0	預り金	181,588
未収入金	11,312,309	精算代金預り金	132,004,078
貸倒引当金	△ 11,312	賞与引当金	1,118,796
【固定資産】	【 517,222,364 】	【固定負債】	【 43,981,292 】
(有形固定資産)	(424,811,653)	長期借入金	0
建物	154,476,248	預り保証金	41,640,000
構築物	2,897,395	退職給付引当金	2,341,292
工具器具備品	3,972,010		
土地	263,466,000	負債合計	189,855,470
(無形固定資産)	(248,311)	純資産の部	
電話加入権	248,311	科目	金額
ソフトウェア料	0	【株主資本】	【 579,379,033 】
(投資その他の資産)	(92,162,400)	資本金	470,000,000
投資有価証券	40,000,000	(利益剰余金)	(109,379,033)
保険積立金	22,400	その他利益剰余金	109,379,033
取引保証積立金	37,140,000	別途積立金	40,000,000
修繕積立金	15,000,000	繰越利益剰余金	69,379,033
		純資産合計	579,379,033
資産合計	769,234,503	負債・純資産合計	769,234,503

損 益 計 算 書

自平成27年4月1日

至平成28年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【売 上 高】		
施設賃貸収入	104,809,769	
売上高割使用料	48,066,599	
面積割使用料	38,782,836	
関連店舗使用料	17,960,334	
精算業務収入	23,524,409	
駐車管理収入	2,570,000	130,904,178
売上総利益金額		130,904,178
【販売費および一般管理費】		130,861,937
営業利益金額		42,241
【営業外収益】		
受取利息	85,894	
雑収入	2,232,247	2,318,141
【営業外費用】		
支払利息割引料	0	
賞与引当金繰入	1,118,796	
雑損失	200,000	1,318,796
経常利益金額		1,041,586
【特別利益】		
貸倒引当金戻入益	11,382	
賞与引当金戻入	1,358,590	
退職給付引当金戻入	3,940,916	5,310,888
【特別損失】		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		6,352,474
法人税、住民税及び事業税		1,241,595
当期純利益		5,110,879

株主資本等変動計算書

自平成27年4月1日

至平成28年3月31日

(単位：円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		その他利益剰余金			
		別途積立金	繰越利益剰余金		
前 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	64,268,154	574,268,154	574,268,154
当 期 変 動 額					
別途積立金の積立		0		0	
当 期 純 利 益			5,110,879	5,110,879	5,110,879
当 期 変 動 額 合 計		0	5,110,879	5,110,879	5,110,879
当 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	69,379,033	579,379,033	579,379,033

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 町田隆敏

個別注記表

自平成27年4月1日

至平成28年3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の棚卸方法及び評価基準

棚卸方法----- 実地棚卸
評価基準----- 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定率法によっています。但し、平成10年4月以降取得の建物については、定額法によっております。
無形固定資産 定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定にもとづく法定繰入率による繰入限度額を計上しております。
退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。

計算書類作成のための重要な事項

①リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

②消費税等の会計処理

消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっています。また、その経理処理は税込方式によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度中の剰余金の配当に関する事項

当期中における配当金の支払いはありません。

当該事業年度後の剰余金の配当に関する事項

配当金の支払いの予定はありません。

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式）	406,000株
当期増加株式数（発行済普通株式）	
当期減少株式数（発行済普通株式）	
当期末株式数（発行済普通株式）	406,000株

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たり純資産額	1,427円04銭
一株当たり当期純利益	12円58銭

その他の注記

その他

有形固定資産の減価償却累計額	699,050千円
----------------	-----------